

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月12日

上場取引所 東

 上場会社名 北越工業 株式会社
 コード番号 6364 URL <http://www.airman.co.jp>

 代表者 (役職名) 代表取締役 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

 (氏名) 吉岡 謙一
 (氏名) 肥田 格

TEL (0256) 93-5571

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	17,389	—	1,337	—	1,407	—	803	—
20年3月期第2四半期	16,428	18.0	1,311	30.2	1,341	33.3	1,013	145.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	26.74	—
20年3月期第2四半期	33.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	24,176	—	10,856	—	44.5	—	358.02	
20年3月期	24,111	—	10,401	—	42.7	—	343.09	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 10,750百万円 20年3月期 10,306百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	9.00	9.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,400	△2.0	2,060	△16.3	2,100	△12.5	1,190	△31.4	39.60

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

 (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4 その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 30,165,418株 20年3月期 30,165,418株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 136,625株 20年3月期 126,457株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 30,034,631株 20年3月期第2四半期 30,054,446株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 平成20年5月15日に公表した通期の連結業績予想について本資料において修正しております。

(2) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。実際の業績は今後様々な要因により記載の予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(3) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原材料価格の値上げやサブプライムローン問題に端を発した米国経済の減速懸念により景気の先行きに不透明感が増してまいりました。

当社グループ関連業界におきましても、建築着工の低迷や生産設備投資の抑制等により厳しい事業環境にありました。

このような状況のなか、当社グループはアジアを中心に新興国等へコンプレッサや発電機を積極的に販売してまいりました。国内におきましては、高所作業車や工場設備向けコンプレッサの販売強化に取り組んでまいりました。また、環境をテーマにオイルフェンス一体型発電機や第3次排ガス規制対応機の開発を進めてまいりました。

その結果、売上高は国内が9,691百万円（前年同期比3.4%増）、海外が7,698百万円（前年同期比9.1%増）となり、全体では17,389百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

損益につきましては、為替レートの円高や原材料価格の値上げの影響を受けましたが、売上増加等により営業利益は1,337百万円（前年同期比2.0%増）、経常利益は1,407百万円（前年同期比4.9%増）、四半期純利益は803百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

なお、前年同期比増減率につきましては、参考として記載しております。

2 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

(1) 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末と比べ163百万円増加し、17,900百万円となりました。これは主に、「【定性的情報・財務諸表等】、5 四半期連結財務諸表、(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書」に記載のとおり現金及び預金と製品が減少したこと、及び受取手形及び売掛金が手形割引の削減に伴い増加したことによるものであります。

(2) 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産残高は、前連結会計年度末と比べ97百万円減少し、6,276百万円となりました。これは主に、投資有価証券が時価の下落に伴い減少したことによるものであります。

(3) 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債残高は、前連結会計年度末と比べ30百万円増加し、11,207百万円となりました。これは主に、売上増による生産の増加に伴い支払手形及び買掛金が増加したこと、期限一括償還社債の振替に伴い社債(期限1年内)が増加したこと、及び返済により短期借入金が増加したことによるものであります。

(4) 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債残高は、前連結会計年度末と比べ420百万円減少し、2,112百万円となりました。これは主に、社債(期限1年内)への振替に伴い社債が減少したことによるものであります。

(5) 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は、前連結会計年度末と比べ455百万円増加し、10,856百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ401百万円減少し、3,453百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは1,176百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を1,407百万円計上したことによるものであります。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは△261百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは△1,319百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出によるものであります。

3 連結業績予想に関する定性的情報

米国に端を発した金融危機が世界的に拡がり、その影響が為替相場の急激な変動や実体経済面に急速に現れて来ております。

当社グループに係る事業環境におきましても、原材料価格の高騰や設備投資の冷え込み、新興国通貨の大幅な下落など懸念材料も多く、不透明感が増しております。

当社グループとしては、コスト面では生産性向上や原価低減活動、在庫の圧縮等、販売面では取引国の拡大や生産設備用コンプレッサの拡販等を進めてまいりますが、現在の事業環境を踏まえ、平成20年5月15日に発表いたしました平成21年3月期通期連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

平成21年3月期通期連結業績の見通し(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	平成21年3月期				(ご参考)
	今回予想 A	前回予想 B	増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B	平成20年3月期 実績
売上高	31,400	33,000	△1,600	△4.8	32,031
営業利益	2,060	2,480	△420	△16.9	2,462
経常利益	2,100	2,410	△310	△12.9	2,399
当期純利益	1,190	1,360	△170	△12.5	1,734

なお、本業績予想の為替レートは、1米ドル100円、1ユーロ130円を前提としております。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。実際の業績は今後様々な要因により記載の予想数値と異なる場合があります。

(ご参考) 平成21年3月期通期個別業績の見通し(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	平成21年3月期				(ご参考)
	今回予想 A	前回予想 B	増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B	平成20年3月期 実績
売上高	29,200	31,500	△2,300	△7.3	30,576
営業利益	1,610	1,900	△290	△15.3	1,924
経常利益	1,650	1,900	△250	△13.2	1,879
当期純利益	940	1,100	△160	△14.5	1,419

4 その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ552千円減少しております。

5 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,484,869	3,886,178
受取手形及び売掛金	10,510,998	9,839,225
製品	2,549,936	2,678,310
原材料	434,431	459,939
仕掛品	164,681	183,363
繰延税金資産	359,814	323,478
その他	398,928	370,910
貸倒引当金	△3,306	△4,237
流動資産合計	17,900,353	17,737,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,210,919	4,199,929
減価償却累計額	△3,208,049	△3,168,458
建物及び構築物(純額)	1,002,869	1,031,471
機械装置及び運搬具	5,600,419	5,558,120
減価償却累計額	△4,531,314	△4,424,314
機械装置及び運搬具(純額)	1,069,105	1,133,806
土地	1,614,352	1,614,352
建設仮勘定	80,930	62,790
その他	957,903	912,304
減価償却累計額	△848,881	△818,154
その他(純額)	109,021	94,149
有形固定資産合計	3,876,278	3,936,569
無形固定資産	29,536	30,022
投資その他の資産		
投資有価証券	1,618,198	1,733,877
繰延税金資産	583,191	509,715
その他	215,865	212,384
貸倒引当金	△46,581	△48,702
投資その他の資産合計	2,370,673	2,407,275
固定資産合計	6,276,489	6,373,867
資産合計	24,176,842	24,111,037

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,935,492	7,282,530
短期借入金	768,392	1,650,192
1年内償還予定の社債	520,000	220,000
未払法人税等	649,115	546,947
賞与引当金	517,093	403,872
役員賞与引当金	37,590	35,000
その他	780,118	1,038,346
流動負債合計	11,207,802	11,176,889
固定負債		
社債	120,000	530,000
長期借入金	121,294	175,890
繰延税金負債	2,825	3,809
退職給付引当金	1,450,252	1,308,039
役員退職慰労引当金	201,649	299,344
P C B対策引当金	125,000	125,000
その他	91,123	90,940
固定負債合計	2,112,145	2,533,024
負債合計	13,319,947	13,709,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,416,544	3,416,544
資本剰余金	3,394,894	3,394,894
利益剰余金	3,954,919	3,422,206
自己株式	△34,513	△31,334
株主資本合計	10,731,845	10,202,311
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,009	97,998
為替換算調整勘定	9,033	5,780
評価・換算差額等合計	19,043	103,779
少数株主持分	106,006	95,032
純資産合計	10,856,895	10,401,123
負債純資産合計	24,176,842	24,111,037

(2) 四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	17,389,580
売上原価	13,796,931
売上総利益	3,592,649
販売費及び一般管理費	
荷造運搬費	352,598
役員報酬及び給料手当	671,978
賞与引当金繰入額	213,906
役員賞与引当金繰入額	18,000
退職給付引当金繰入額	76,250
役員退職慰労引当金繰入額	14,290
その他	907,688
販売費及び一般管理費合計	2,254,712
営業利益	1,337,936
営業外収益	
受取利息	4,909
受取配当金	46,896
為替差益	16,452
その他	30,432
営業外収益合計	98,691
営業外費用	
支払利息	17,868
その他	11,454
営業外費用合計	29,323
経常利益	1,407,305
特別利益	
固定資産処分益	15
貸倒引当金戻入額	709
特別利益合計	724
特別損失	
固定資産処分損	744
特別損失合計	744
税金等調整前四半期純利益	1,407,285
法人税、住民税及び事業税	642,374
法人税等調整額	△51,436
法人税等合計	590,938
少数株主利益	13,283
四半期純利益	803,063

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,407,285
減価償却費	195,977
退職給付引当金の増減額(△は減少)	142,212
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,052
受取利息及び受取配当金	△51,806
支払利息	17,868
有形固定資産処分損益(△は益)	729
売上債権の増減額(△は増加)	△671,773
たな卸資産の増減額(△は増加)	173,379
仕入債務の増減額(△は減少)	556,075
未収消費税等の増減額(△は増加)	46,914
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,321
その他	△107,782
小計	1,700,706
利息及び配当金の受取額	55,665
利息の支払額	△18,371
法人税等の支払額	△561,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,176,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△225,615
有形固定資産の売却による収入	24
無形固定資産の取得による支出	△2,501
投資有価証券の取得による支出	△31,667
貸付けによる支出	△2,000
貸付金の回収による収入	779
定期預金の預入による支出	△629
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,500,000
短期借入金の返済による支出	△2,270,000
長期借入金の返済による支出	△166,396
社債の償還による支出	△110,000
自己株式の取得による支出	△3,178
配当金の支払額	△267,916
少数株主への配当金の支払額	△2,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,319,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,252
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△401,938
現金及び現金同等物の期首残高	3,855,117
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,453,178

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

当社及び連結子会社は、建設機械・産業機械の製造及び販売並びにこれらに関連する業務のみを行っておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

② 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合が、いずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	欧州(千円)	北米(千円)	アジア(千円)	その他の地域(千円)	計(千円)
I 海外売上高	673,976	761,596	3,842,308	2,420,320	7,698,202
II 連結売上高					17,389,580
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	3.9	4.4	22.1	13.9	44.3

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) 欧州……………ドイツ、オランダ、イタリア等

(2) 北米……………米国等

(3) アジア……………中国、シンガポール等

(4) その他の地域…ロシア、中近東、アフリカ等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前中間連結損益計算書

科目	前中間連結会計期間 自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日
	金額(千円)
I 売上高	16,428,294
II 売上原価	12,883,151
売上総利益	3,545,143
III 販売費及び一般管理費	2,233,569
営業利益	1,311,573
IV 営業外収益	79,538
V 営業外費用	49,756
経常利益	1,341,355
VI 特別利益	37,127
VII 特別損失	158,261
税金等調整前中間純利益	1,220,221
法人税等	192,870
少数株主利益	13,942
中間純利益	1,013,408